

賛助会員募集のご案内

SUPPORTING MEMBER RECRUITMENT

SMILE FROM TOKACHI

〔お問い合わせ〕

NPO 法人食の絆を育む会

〒089-5601 十勝郡浦幌町字宝町 53-26



015-578-7955



015-578-7956



info@shokuhug.com

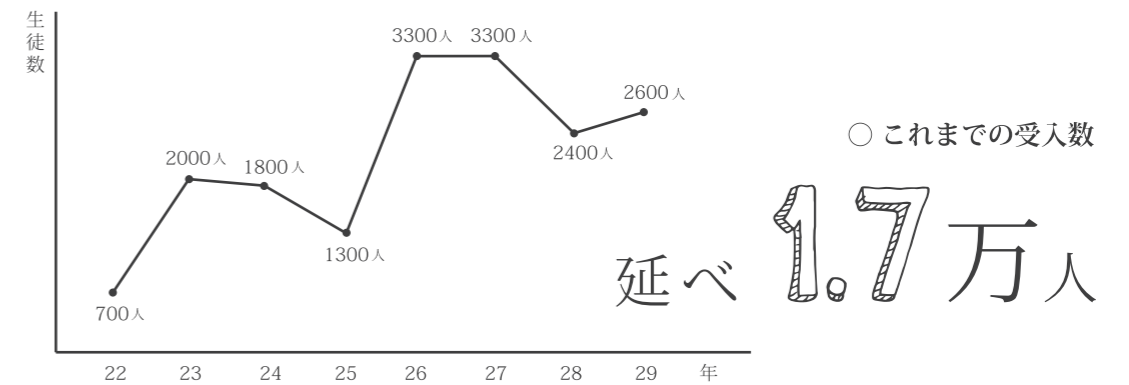


NPO法人 食の絆を育む会



REPORT NPO 法人食の絆を育む会とは？

農林漁業は「食」などのいのちの糧を生み出す大切な営みです。私たちが暮らす十勝は国内でも有数の農作物の産地です。「食」に対する意識問題には、私たちだからできること、またはすべきことがあるに違いない。そんな思いを持つ十勝管内 19 市町村の約 350 戸の生産者と共に、大阪や東京などの都会の高校生を受け入れ、ありのままの農山漁村生活を体験してもらう『農村ホームステイ』を展開しています。平成 24 年に各市町村の農林漁業者が所属する 10 団体で NPO 法人食の絆を育む会を設立（現 14 団体）。消費者が農林漁業を体験する農村ホームステイ事業を通じて、農林漁業に対する理解を深めてもらうこと。さらに「食」に対する意識を高めてもらい、未来へとつなげることを目的としています。



○ リピーター校（学校として二度以上の来勝校）

2018 年は 8 / 9 校

一度来ていただいた学校から、十勝に再訪したいとのご依頼が多く、十勝の農村ホームステイは大変好評をいただいております。

「とちからの笑顔」

毎日、大自然と真正面から向き合って生活を送る。厳しい自然の中での仕事は、決して楽ではない。だが、そんな中で暮らす「食」を支える生産者の笑顔は特別だ。その笑顔は、都会の高校生の少し固まった心をほぐし、開放させる。たった一泊のホームステイにも関わらず、高校生はそんな農家さんの笑顔に触れ、「笑顔」になって帰っていく。

そして後日、「農業と関わって生きていきたいです」「畜産大学に行くのを決めました」といった高校生からの知らせや「僕の手作りクッキー食べてください」といった贈り物が届く。今度は、農家さんが高校生から笑顔をもらう。いま、農村ホームステイではこんな笑顔の連鎖が起きています。



VOICE ホームステイを通しての声

出会いの縁を大切にしたい

ホームステイの体験を通して、食の大切さだけでなく農家さんの心の温かさを感じました。大自然とともに生きる農家さんの言葉は当時悩んでいた私の心にとっても響きました。その後も農家さんと連絡を取り合っていて、京都で2年ぶりに再会することができました。今も連絡が続き、農家さんは第2の家族のような存在です。たった24時間のホームステイですが、都会に住む思春期の高校生だからこそ、体験することで感じる何かがあると思います。多くの高校生にホームステイを体験してほしいし、ホームステイでの出会いの縁をつなげてほしいです。



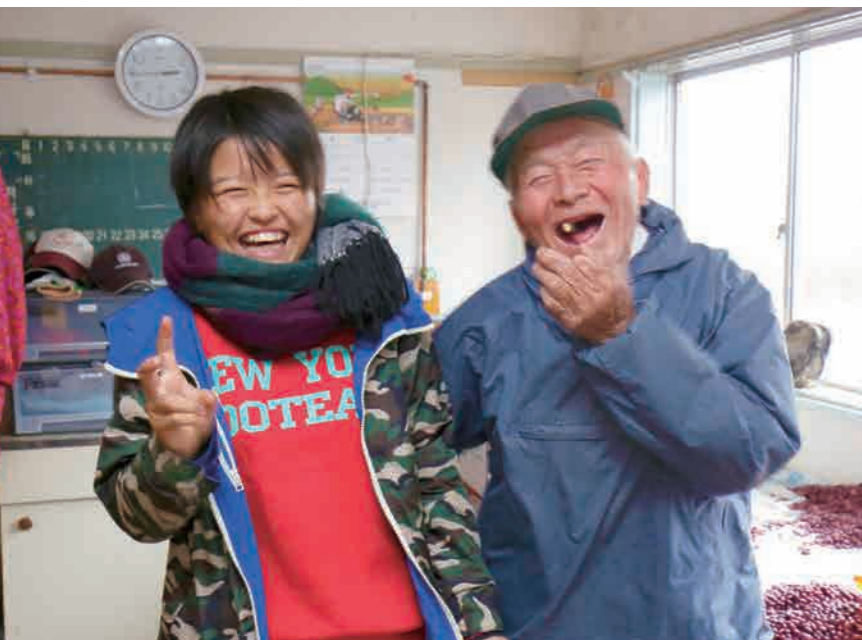
大阪府立市岡高校卒業
梶川 菜々実さん (2014年体験)

自分の世界が広がりました

高校の修学旅行で畜産農家さんのところでホームステイを体験しました。それまで、畜産=殺すために育てているというイメージを持っていたのですが、農家さんの姿、言葉を聞いて畜産に対する見方が大きく変わり、もっと勉強したいと思い、帯広畜産大学を目指しました。今は十勝の雄大な自然の中、農家さんと直接ふれあいながら学ぶことができ、幸せです。ホームステイで十勝に出会い、自分の世界が広がったので、これからも食の絆を育む会を通じて色々な方に会い、成長していきたいです。そして農家さんと消費者を繋ぐ架け橋のような存在になり、十勝の魅力を広めていきたいです。



奈良女子大学附属中等教育学校卒業
米田 英里奈さん (2014年体験)



MEDIA ホームステイが全国放送!

当会のホームステイの取り組みが、TBS系全国放送で二度取り上げられ、本活動が注目を浴びています。第1回目の放送では女優の南沢奈央さんに、第2回目ではタレントの宮川大輔さんにご出演いただき、十勝の受け入れ家庭のお宅を訪問されました。



2014年8月11日(日) 午後4時～5時放送
十勝が教えてくれた3つのこと。～17歳の農村体験 未来への種まき～



2016年8月27日(土) 午後4時～5時放送 (2016年12月31日には、道内で再放送)
宮川大輔が出逢った「17歳の北海道農村体験」～誰かのために生きる、ということ。～

WELCOME 賛助会員募集

皆様の温かいご支援が、高校生の笑顔、そして未来への種まきへと繋がります。当会の目的と活動にご賛同いただける方の賛助会員へのご入会を心よりお待ちしております。皆様からのご支援をもとに、さらに充実した活動を続けてまいります。

USE 賛助会費の用途

1

高校生と受け入れ家庭の事後交流の場の創出

十勝で芽生えたつながりをホームステイ後も継続していけるよう、交流イベントの開催や SNS を活用した交流の場等を設置し、高校生の事後交流をサポートしていきます。

2

ホームステイ実施校に対する事後学習の実施

1泊2日のホームステイ体験を一過性のものではなく、事後学習をセットにすることで、“体験”だけで終わらない活動にしていきます。各学校の先生と密に意見交換をし、各学校に合わせた事後学習を展開していきます。(例：十勝食材を利用した調理実習、農山漁村への理解を育むワークショップの場の提供)

3

ホームステイ受け入れ体制の基盤強化

高校生にとって一生に一度の体験である修学旅行でのホームステイが、より有意義なものとなるよう、受け入れ家庭や各町村事務局間での研修会・意見交換会の実施、また、受け入れ家庭の拡充にむけた説明会の開催を促進していきます。

ENTRY 賛助会員へのお申し込み方法

別紙に必要事項を明記の上、FAX または郵送にて当会事務局（下記住所）へお申し込みいただいたのち、賛助会費を当会口座にお振込ください。

個人会員：1口 5,000円

法人・団体会員：1口 50,000円

NPO 法人食の絆を育む会

〒089-5601 北海道十勝郡浦幌町字宝町 53-26

TEL 015-578-7955 FAX 015-578-7956

PRIVILEGE 賛助会員の入会特典

- ・当会ホームページへのお名前、団体名の掲載（匿名希望の方は掲載いたしません）
- ・当会の1年の様子をお伝えする特別報告会へのご招待
- ・1年間のホームステイの様子をまとめたDVDの郵送

